

平成26年 第4回 熊野町議会定例会（12月）

一般質問通告一覧表

No. 1

質問議員	質問の方法	質問事項	質問の要旨	質問の相手
1. 南田議員	一問一答	① 所有者安芸郡熊野町籠池受迫の所有者について	● 安芸郡熊野町は明治24年6月5日、所有者安芸郡熊野町籠池受迫を明治23年10月20日付譲与証書により、籠池受迫に移転登記している。この登記手続き、明治31年の民法公布による移行についての以後の行為について質問します。	町長
		② 保安林開発事業について	● 開発工事の経過と決算について売却の見通しについて	
2. 時光議員	一問一答	① 防災対策について	● 広島土砂災害を機に熊野町は危険箇所の独自点検を行ったとのことであるが ・点検方法とその結果は ・点検結果をいかに防災対策に反映させるのか 以上2点について問う。	町長
		② 耕作放棄地について	● 耕作放棄地の発生防止、解消の抜本的強化として農水省は、中間管理機構の整備を推進しているが、町としての方針を問う。	
3. 沖田議員	一問一答	① 保育料算出基準変更に伴う負担増家庭への緩和措置を	● 保育料の算出基準が所得税から住民税に変更するため、大幅な負担増になる方が出て参りますが、影響の出る方に対しては、緩和措置を検討していただけないでしょうか。 現段階での町の考え方をお伺いします。	町長

質問議員	質問の方法	質問事項	質問の要旨	質問の相手
		② 家庭教育支援アドバイザーの取り組みと課題について	● 熊野町では、学習環境を整備するための学校への支援として町内小・中学校に家庭教育支援アドバイザーを配置していますが、その具体的な取り組み課題、成果についてお伺いいたします。	教育長
		③ 町内小・中学校のユネスコスクールとしての取り組み状況は	● 我が国の提案により2005年から始まった国連「持続可能な開発のための教育」、いわゆる「ESDの10年」は、今年で最終年の区切りを迎え、活動を振り返るとともに、今後のESD推進に向けた方策について議論されていますが、文部科学省及び日本ユネスコ国内委員では、ユネスコスクールをESDの推進拠点と位置付け、加盟校の増加に取り組んでいると伺っています。 熊野町では、町内小・中学校全てがユネスコスクールの加盟校となっていますが、主な活動内容についてお伺いいたします。	
4. 山野議員	一問一答	① 認知症予防対策に検診と予防教室をやってはどうか	● 町内では、65歳以上が3割おられますが、高齢者が認知症にならないよう早期発見、早期治療を行うため具体的な方法は考えているのか。	町長
		② 小・中学校の校舎、体育館等施設の雨漏りやメンテナンスについて	● 教育委員会では、全て把握されていると思うが、今後の修理の予定、財源は確保できるのか。	
5. 民法議員	一問一答	① 県道矢野安浦線の今後の整備計画について	● 県道矢野安浦線は、熊野黒瀬トンネルが開通して黒瀬方面は走行しやすくなった。 しかし、広島方面は、榎ヶ迫交差点付近まで拡幅された後、約4年間そのままである。 今後の整備計画を問う。	町長

質問議員	質問の方法	質問事項	質問の要旨	質問の相手
		② 砂防ダムの管理状況について	<ul style="list-style-type: none"> ● 町内の整備済の砂防ダムについて、定期的な点検など管理状況を問う。 また、今後何箇所程度必要か。 	町長
		③ 女性消防分団の設置について	<ul style="list-style-type: none"> ● 全国的に消防団員数が減少する中、女性消防団員数は増加して、全国で2万人を超え全体の2.4%を占めている。 女性の持つソフトな面を活かして災害時の避難誘導や応急手当の普及指導等に活躍できる女性消防分団の設置を検討してはどうか。 	
6. 藤本議員	一問一答	① 生活福祉交通の充実について	<ul style="list-style-type: none"> ● 平成25年4月より本格運行を始めた「おでかけ号」。 町民からの評価は様々ですが、町として現在のおでかけ号をどの様に評価をしているのか。 また、その評価の方法をお聞かせいただきたい。 27年4月には3年目を迎え、巡回コースやバス停の見直しに関してどの様に考えるのか。 巡回できない地域には、デマンド方式などを検討する時期にきているように思うが、町として調査・研究は行っているのか詳細について問う。 	町長
7. 荒瀬議員	一問一答	① 固定資産税について	<ul style="list-style-type: none"> ● 固定資産税の増額に対する質問 <ul style="list-style-type: none"> ・地籍調査の経緯 ・地積増減に伴う税額確定時期の判断について ・地主への周知状況（増減額について） ・路線価導入の根拠（公示、基準、路線、一物三価） ・住民への功罪 ・現状、健全財政の報告の上で一年間かけ住民への説明後に住民同意を受け議会の同意承認後実施するものと考えよ。 段階的処置、猶予等、救済策も考慮頂きたい。 	町長

質問議員	質問の方法	質問事項	質問の要旨	質問の相手
8. 大瀬戸議員	一問一答	① ゴミの不法投棄撲滅対策	<ul style="list-style-type: none"> ● ゴミや産業廃棄物の不法投棄は後を絶たない。 中でもゴミステーションに投棄する無秩序なゴミに、周辺住民は困惑している。 不法投棄撲滅のための手段と不法投棄されたゴミ処理はどうされているか。 	町長
		② 公共交通の現状への危機感	<ul style="list-style-type: none"> ● わが町の唯一の公共交通である広電バスの利便性は、年々低下している。今後の少子化対策のためにも、また、医療や教育など広域で解決していく時代の流れからも、利便性向上は欠かせない。 今後どのように発展していく考えか、そして現状への危機感をどのように持っているか。 	
9. 片川議員	一問一答	① 公共施設工事の設計管理と入札価格の適正	<ul style="list-style-type: none"> ● 町内施設工事の設計計画時点からの適正。 工事管理から竣工検査の適正。 入札落札額、また予定額への適正に疑問を感じる。 これを問う。 	町長
		② 西公民館移転計画に伴う西部地域の定住促進、三世代交流、商店街の活性化	<ul style="list-style-type: none"> ● 計画の進捗と前定例会においてお願いしていた三世代交流と西部地域発展のためへの跡地利用計画を問う。 	
		③ 教育施設を含む公共施設の今後の保守維持について	<ul style="list-style-type: none"> ● 公共施設の傷みが目立つ。 今後の計画を問う。 	